

ご自由にお取りください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO大阪病院

No. **59**

2024

Open Com

オープン・コム

特集

糖尿病内分泌内科

～健康な方と変わらない寿命、人生を目指して～

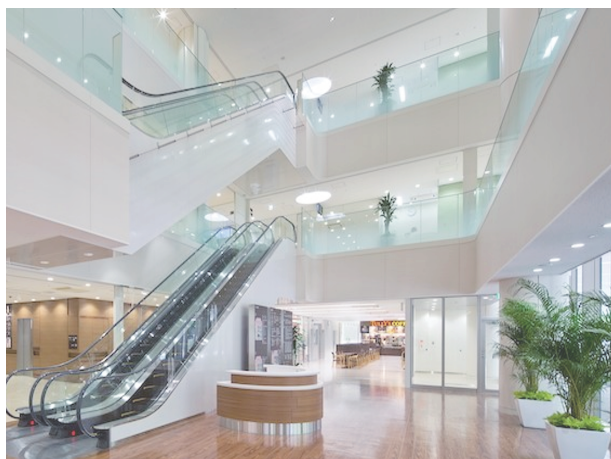


JCHO大阪病院 理念

あしたのしせい+

より最適な医療と温かいところで、「あなた」と「地域」を支えます

糖尿病治療の目的は血糖値や HbA1c(1-2 か月の指標) を良くすることではありません。糖尿病があっても健康な方と変わらない寿命、健康な方と変わらない人生を歩むことです。最近、糖尿病歴 50 年以上の御年 97 歳の糖尿病患者さんが「健康に年を重ねられたのは糖尿病のおかげです」と仰っていました。一病息災、糖尿病があっても健康に幸せに年を重ねておられる方がいます。そのような方のお役に立てれば、糖尿病内科医としてこれ以上ない幸せです。JCHO 大阪病院では患者さんお一人お一人が上記のような目的を達成できるように、お一人お一人の希望や意向を尊重しながら、なるべくライフスタイルに合わせた治療法を提案します。



1 型糖尿病

一般的なイメージとは異なる糖尿病
若年発症が多いが、高齢でも発症する
全体の5%以下と稀
原因は自己免疫であり、生活習慣が原因ではない
インスリン注射が必要となることが多い

2 型糖尿病

一般的にイメージされる糖尿病
中年以降発症が多いが、最近は若年での発症も
全体の90%以上
肥満、食事、運動不足、加齢、遺伝などが原因
治療は基本的に生活習慣の改善や飲み薬

2 型糖尿病 ～生活習慣・飲み薬・肥満外科手術～

灰色が一番



- ・完璧な食事療法
- ・毎日ランニング
- ・やせすぎ



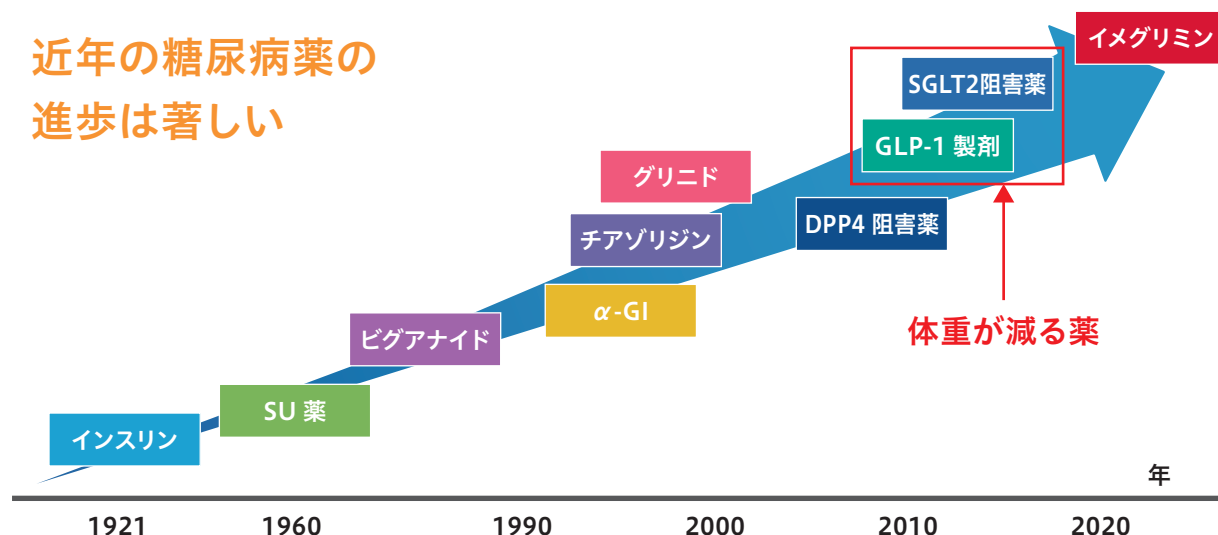
- ・ほどほどな食事療法
- ・時々ウォーキング
- ・やせすぎず太りすぎず



- ・暴飲暴食
- ・運動全くなし
- ・太りすぎ

2 型糖尿病は生活習慣が大きく関係し発症します。ただ、遺伝の影響も大きく、同じものを食べて同じ運動をしても、糖尿病になる人とならない人がいます。糖尿病といっても多様性があり、生活習慣が大きく関係する病気ではありますが、それだけの病気ではありません。暴飲暴食や運動習慣ゼロはお勧めできません。一方、完全に極端な食事療法や毎日のハードな運動療法は、継続できないことが多いです。世の中の本当に大切なことは「ほどほど」「中庸」であることが多いと考えています。それには、現状を把握したうえで頑張りすぎず、長く継続できる生活習慣や治療法を選択することが大切です。白黒ははっきりした分かりやすい方法は人目を引きますが、継続が困難です。「灰色」を長く続けること、少しずつ良くしていくことが大切と考えています。

近年の糖尿病薬の 進歩は著しい



ご自分に合った薬と一緒に選びましょう

近年、糖尿病薬は進歩が著しく、最近約 15 年で 4 種類約 20 以上の新しい薬が出てきています。ご自身に合った薬を選び、その薬を忘れずに日々きちんと内服することが大切です。肥満のある糖尿病では体重を減らすことが非常に重要です。10 年前から体重を減らす糖尿病薬がいくつか出てきました。食事療法・運動療法とライフスタイルの改善に加えて、これらの薬を使うことで、体重が減少し血糖値が改善します。

しかし、患者さんの中にはどうしても体重が減らない方もおられます。そのような方に対して、当院では胃を小さく切除する減量・代謝改善手術（スリーブ手術）を行っています。外科医、内科医、精神科医、臨床心理士、管理栄養士、理学療法士、看護師など沢山のメンバーで協力して治療にあたっています。2022 年から開始し、これまでに 7 件の手術を行っており、平均 20kg 程度の体重減少を図れています。

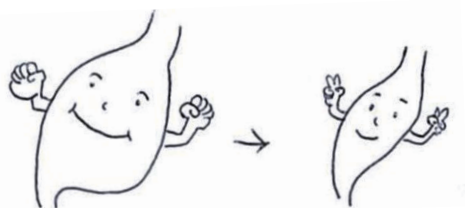


肥満外科手術（スリーブ手術）

胃を切除して小さくし、食べる量を減らす手術

対象

BMI 35kg/㎡以上で 70 歳未満の方
もしくは **BMI 32kg/㎡以上かつ糖尿病を合併し**
HbA1c が 8.4% 以上で 70 歳未満の方



1 型糖尿病 ～持続血糖モニタリング、インスリンポンプ～

1 型糖尿病は、インスリンという血糖値を下げるホルモンが突然出なくなる病気です。生活習慣が原因ではありません。若年発症のため遺伝する病気と思われるがちですが、基本的に遺伝しません。1 型糖尿病は、適切なタイミングで適切な量のインスリンを補充するだけのシンプルな病気ですが、ただこれが非常に難しいです。

1 型糖尿病では血糖値の変動が大きく、血糖値をこまめに測定することが重要です。当院では持続血糖モニタリング（CGM）を使い、血糖推移を把握し、最適な治療を行います。

近い将来 1 型糖尿病は「ほぼ」治る病気になります。インスリンポンプの進化が著しいためです。小型化、自動化、低価格化が進めば、装着するだけで血糖値は自動的に調節されます。視力の悪い方にとっての「眼鏡」のように、インスリンポンプを装着さえしていればあまり病気のことを気にせず生活できるようになります。現状では、そこまでは到達していませんが、半自動調節の高精度インスリンポンプが登場してきており、当院でも導入を進めています。



内分泌（ホルモン）の病気

内分泌（ホルモン）の病気



下垂体機能低下症、尿崩症
成長ホルモン分泌不全症



バセドウ病、橋本病



原発性アルドステロン症
褐色細胞腫、クッシング症候群

内分泌疾患とは体内でのホルモンが出なくなったり、出過ぎることで発症する病気です。ホルモンというとなんとなく抽象的な「ふわふわした」イメージがあるかと思いますが、医療の現場ではホルモンは血液検査で具体的な数値を測定でき、治療も出来ます。ただ、ホルモンの病気は中々見つけにくい病気でもあり、医学の世界でも特に診断がつきにくい領域でもあります。最近でも、慢性疲労で受診して下垂体機能低下症の診断になった患者さんや、体重減少で受診してバセドウ病の診断となった患者さん、難治性高血圧で受診して原発性アルドステロン症の診断となった患者さんがいらっしゃいました。当院には内分泌の専門医が2名おり診断から治療までスムーズに行えます。

糖尿病と未来 ～ひとにしかできないこと～

医療現場でも AI は進化し、今後様々な医療分野で人にとって代わる（助けてくれる）と思います。ただ、AI から励まされてやる気は出ません。糖尿病の分野では、人が AI を大幅にリードしています。糖尿病は薬を使わなくても「ひとの言葉」で改善することがあります。信頼できる医療関係者との関係が大切と考えています。

患者さんにとっては紹介されてよかった診療科、診療所・クリニックの先生方からは紹介してよかったと仰って頂けるような診療科を目指してまいります。皆様に必要とされる診療科になれるようスタッフ一同取り組んでいます。

JCHO 大坂病院糖尿病内分泌内科は紹介されたい・紹介しやすい科を目指しています
糖尿病やホルモンの病気が疑われる際は是非当科までご紹介・ご受診ください！

糖尿病内分泌内科 スタッフの紹介



地域の先生方へ

先生方と一緒にこの地域の糖尿病の患者さんの病状を少しでも良くしたいと考えています。治療にお困りの際はどのような症例でも是非ご紹介下さい。また、内分泌疾患が疑われる際もお気軽にご紹介いただけますと幸いです。必ず逆紹介いたします。当科における逆紹介率は 100% 以上で、ご紹介いただいたほとんどの患者さんが、退院後は元の医療機関に通院されています。

患者さんへ

糖尿病は苦しいだけの病気ではありません。うまくコントロールすれば、合併症が起きる事なく、楽しく治療することが可能です。色々な治療方法があるので、あなたに合う方法がきっとあります。一緒に見つけましょう。また、ホルモンの病気についても適切な診断・治療が可能です。是非一緒に体調を良くしましょう。

馬屋原 豊

笑顔を絶やさず、患者さん中心のエビデンスに基づいた糖尿病・内分泌診療を提供します。また、1型糖尿病患者さんやコントロールの難しい糖尿病患者さんには、最新のデバイスを用いた先進糖尿病治療を糖尿病ケアチーム一丸となって提供します。

桂 央士

2021年に大阪急性期・総合医療センターより当院に赴任してきました。これまでも糖尿病を中心に地域の先生方とも連携をしながら外来、入院加療を行っており、当院でも病院ならではのことを行いながら、地域の先生方と連携していけたらと思います。

外川 有里

2020年春から外来・入院診療に携わっております。患者様が話しやすい雰囲気作りを心がけています。糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病から甲状腺、副腎などの内分泌疾患などご相談、ご紹介お待ちしております。

上野 圭祐

梅雨の時期に家にこもり今回の特集を執筆しました。昨年15年ぶりに関東から関西に帰ってきましたが、糖尿病は関西も関東も変わらないと思いました。関西でも関東でも糖尿病は必ず良くなります。内分泌疾患は早期診断が鍵です。是非一緒に良くしましょう。

当院では、糖尿病の患者さんやご家族の方を対象に「糖尿病教室」を開催しています。当院の入院・外来患者さんだけでなく、他院に通院されている方、血糖値が気になる方など、申し込みは必要なく、無料で参加していただけます。病気のことを理解し、今の状態を悪化させず治療を継続できるようにすること、来てよかったと思っていただけるような内容を心がけています。当院の医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、看護師、歯科衛生士、健康運動指導士などが交代で担当し「糖尿病と上手く付き合いながら過ごすヒント」をわかりやすく説明しています。



また、毎年 11 月 14 日は世界糖尿病デーです。日本ではこの日を含む 1 週間を「全国糖尿病週間」とし、糖尿病の予防・治療を喚起する啓発活動が行われています。当院でも 11 月は世界糖尿病デーイベントを開催し、血糖測定の実施や展示を行うとともに、院内をブルーライトで装飾するなどの糖尿病理解の促進活動を行っています。今年も開催予定ですので、ぜひご参加ください！

昨年度の世界糖尿病デーイベント
(当院公式 Instagram より)

2024 年度 糖尿病教室年間予定表

	糖尿病教室 午後 14 時から	教室 開催場所	テーマ
9月	9月5日	6階 講堂1.2	糖尿病の薬物療法について
10月	10月3日	6階 講堂1.2	糖尿病と運動療法について
11月	11月12日(予定)	2階 ラウンジ	オープンキャンパス「世界糖尿病デー」
12月	12月5日	6階 講堂1.2	糖尿病腎症を知って予防しよう！
1月	休 会		
2月	2月6日	6階 講堂1.2	糖尿病の検査について
3月	3月6日	6階 講堂1.2	足を守ろう！フットケア

※2024 年 8 月時点の予定になります。

変更の可能性がありますので、最新の情報は当院ホームページ又は内科外来の案内用紙をご確認ください。

初夏を感じるお天気にも恵まれた日、リーガロイヤルホテルにおいて「JCHO大阪病院 地域医療連絡会」を開催しました。地域の医療機関の方々をお招きし、シームレスな地域連携の実現のために、それに関わる医療従事者同士がお顔を合わせて、親睦を深めることを目的として企画しました。



院長挨拶

西田院長より「連携のハードルを低くしてシームレスな地域連携」をテーマに開会の挨拶があり、2024 年度大阪病院体制、迅速かつ真摯に地域のニーズに応えていくための取り組み等について説明を行いました。



講演の様子



座長 笠井先生と鴨井先生

学術講演会では、「呼吸器センターの診療体制と診断・治療の実際」について、座長を笠井医院 院長 笠井大介先生と当院呼吸器センター長 鴨井博が務め、呼吸器内科診療部長 光岡茂樹と呼吸器外科診療部長 高濱誠が、「肝胆膵領域の内科的治療・外科的治療」の講演を。また、座長はもりかわ内科クリニック 院長 森川浩安先生と当院副院長 金子晃が務め、消化器内科医長 氣賀澤 斉史と外科診療部長 森本 修邦が講演を行いました。



呼吸器センター左光岡、右高濱



座長 森川先生



消化器外科 森本



消化器内科 氣賀澤

懇親会では、日頃、直接お話しする機会が少ない当院の医師と地域の先生方とが和やかに意見交換を行いました。今後も地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるように努力していきたくております。今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



地域医療連携室では、診療科医師や診療サポート部門のメンバーと共に、新しいパンフレットを持参し、クリニック訪問をしています。皆様により身近な存在となれるよう、さまざまな情報交換をしています。地域の先生方がより診療しやすくなるよう、お声をお聞かせください。

令和6年10月5日(土) 「JCHO大阪病院オープンキャンパス」 を開催します！

※同日は「福島区民まつり」が下福島公園(病院横)にて開催！

「あなたと地域を支えたい！病院を知って頂きたい！」
という思いから、病院ならではの催し物を多数開催予定！

今回の注目企画

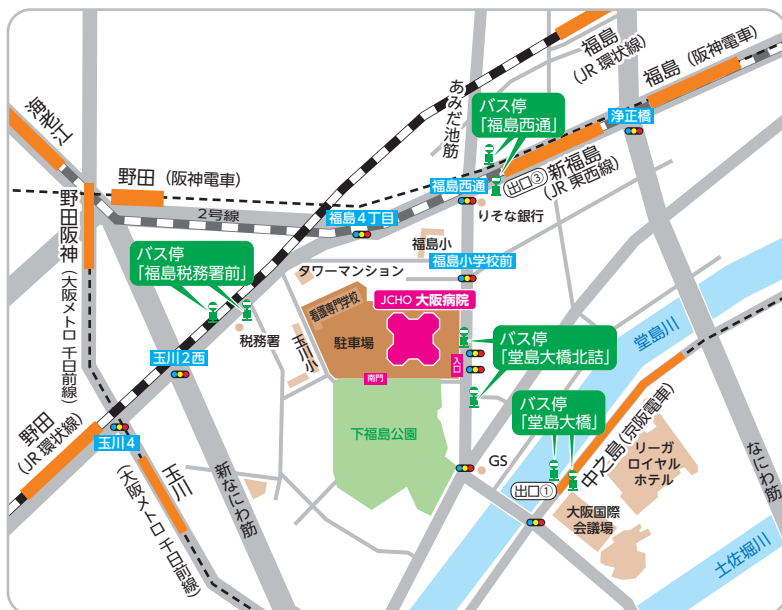
～今年も皆様のご参加をお待ちしています～

- ・ミニ人間ドック(簡単な身体測定や計測、検査ができる！)
- ・バックヤードツアー(普段入れないエリアにご案内します！)
- ・体験コーナー(妊婦体験、医師看護師なりきり体験等！)
- ・オープンスクール(看護学校を開放！)
- ・その他(救急車見学、ミニコンサート等！) 他多数

今年は院内見学ツアーも開催！？
いろんな機械が見れちゃうかも？
昨年からパワーアップして皆様のご来場を
お待ちしております！
当院ホームページやSNSの続報をご期待ください。



アクセス



■ JR 東西線

「新福島駅」下車徒歩 5 分

出口 1 にはエレベーター、出口 2 にはエスカレーターがございます
※当院に一番近い出口 3 には階段しかございません

■ 京阪電車

「中之島駅」下車徒歩 5 分

■ JR 環状線

「福島駅」下車徒歩 10 分

■ 阪神電車

「福島駅」下車徒歩 10 分、「野田駅」徒歩 15 分

■ 地下鉄

「千日前線玉川駅」下車徒歩 10 分

■ 市バス

「大阪駅前」 鶴町四丁目 [55] 方面 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
「大阪駅前」 西島車庫前 [56] 方面 「福島西通」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」 西島車庫前 [56] 方面 「大阪福島税務署」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」 船津橋 [53] 方面 「堂島大橋」下車 徒歩 5 分

■ タクシー

「大阪駅」より約 10 分



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院 / 大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/> この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで

JCHO 大阪病院

検索

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録
事業者／「働きやすい病院」認定病院(第
1号)／につけ子育て支援大賞受賞／
女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

JCHO大阪病院SNSはこちら



LINE



Facebook



Instagram



広報誌バックナンバー



古くより四つ葉のクローバーは「見
つけた人には幸運が訪れる」とい
う言い伝えがあります。
当院は患者さんや地域の皆様が
幸せになるお手伝いができるよう
四つ葉のクローバーの形を
建物のモチーフにしております。

オープン・コム 59号 2024年8月発行
本誌の無断転載・複製は禁じます。